

様式第1号（第3条関係）

【健康あだち21専門部会】会議概要

会 議 名	平成30年度 第1回 【健康あだち21専門部会】
事 務 局	衛生部こころとからだの健康づくり課
開催年月日	平成30年6月26日（火）
開催時間	午後1時 ～ 午後3時
開催場所	特別会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	別紙のとおり
会議次第	別紙のとおり
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・健康あだち21専門部会次第 ・報告及び検討資料 ・足立区糖尿病対策アクションプラン【中間見直しによる改定版】 ・第3回子どもの健康・生活実態調査 平成29年度報告書【概要版】 ・足立区データヘルス計画 ・あだち 食のスタンダードサポートBOOK ステップ1～3
そ の 他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

1. 部会長・副部会長挨拶

・藤原部会長：こんにちは。東京医科歯科大学の藤原と申します。

様々なエビデンスが足立区から出てくるのを大変うれしく思っています。

本会で現場の声が政策に反映されるのを強く感じるので、ぜひ活発なご意見をいただきたいと思えます。

・近藤副部会長：こんにちは。今年度も副部会長となりました、東京大学の近藤尚己と申します。

足立区は、日本の中でも社会的に不利な人々への対策を戦略的・科学的根拠に基づいて実施している数少ない自治体だと私は考えています。

今年度も学ばせていただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

2. 報告事項

(1) 足立区データヘルス計画（改訂版）の策定について

・データヘルス推進課・物江課長より資料1に基づいて説明

・今後の健康データ一元化の方向性→計画のp34-35に記載

(2) 国民健康保険の医療費と特定健診受診者のHbA1c検査結果について

・データヘルス推進課・物江課長より資料2に基づいて説明

(3) 簡易血液検査（スマホ de ドッグ）の実施について

・データヘルス推進課・物江課長より資料3に基づいて説明

・藤原部会長：簡易血液検査で、約10%弱の方が返却してくれるということですが、地域差みたいなものはありそうですか？

・物江課長：今のところそういった特徴は見られないです。

・近藤副部会長：検査数というのは、対象者数が区内の対象となる人の数で、その内、申込んで送付した人が検査数？

・物江課長：対象者数については、区内対象者数で、検査数については申

込者から若干少なくなります。

・近藤副部会長：この9.1%というのは、概ね計画通りということですか？

・物江課長：想定した範囲内に収まったということで、計画通りです。

(4) 成人歯科健診及び妊婦歯科健診の実施結果について

・データヘルス推進課・物江課長より資料4に基づいて説明

・湊委員：妊婦歯科健診が902件の受診者数とあるが、過去に保健センターでやっていたときの受診者数はどのくらいなのでしょう？

・物江課長：382名になります。

（p32の中央※1）

・湊委員：平成28年度は対象者の少なかった時期で、5000名程度は現状に戻ってきた数字だと思います。受診率4%台は健診受診率として非常に低い値になるので、今後も受診率増加に向けて取り組んでいく必要があると思います。

・物江課長：受診率のところは、湊委員のおっしゃる通りです。27年度と比べて28年度から受診券をがんと発送することによって、件数が減っているところがあります。

ですので、我々も受診率を上げるという事から、勧奨の方法など努力していきたいと思っています。

(5) 平成30年度国の無料クーポン事業の実施結果について

・データヘルス推進課・物江課長より資料5に基づいて説明

(6) 国民健康保険特定健康診査・後期高齢者医療制度健康診査受診券と大腸がん検診受診券の同時送付について

・データヘルス推進課・物江課長より資料6に基づいて説明

(7) 「後期高齢者歯科健診」の実施について

・データヘルス推進課・物江課長より資料7に基づいて説明

・湊委員：歯科医師会としては摂食・嚥下のテストもやりたいと思っています。他区では多くが導入しているのが現状だが、足立区では関係組織に拒否されてしまいました。初年度は入れられないが、今後実施できるよう取り組んでいきたいと思っています。

・物江課長：後期高齢者歯科健診については、介護予防ですとか、高齢者特有の課題を掴んでいく為に、今年度はこれでスタートさせていただきたいと考えておりますけれども、健診事業全般に言える事ですが、改善をされていて実のある健診に結び付けていければと考えております。

・湊委員：オーラル・フレイルという言葉が認知されるようになってきていて、日本語に訳すとフレイルというには虚弱という意味なんですけど、食べられなくなる、動けなくなる、外に出られなくなる、介護状態になる…の初期状態になる前に、介護にならない努力を日常からやっていかなければならないし、介護や認知症に入る前段階の口腔対策をしっかりとやるべきだと思います。

・浅野委員：訪問看護ステーションで協力できることはしていきたいと思っています。また、アクションプランの結果が出てきているワクワク感があります。

・近藤副部長：スマホ de ドッグや妊婦健診にも言えることだが、ターゲットを絞った戦略ができると感じます。

例えば、ターゲットとなる人がやりたくなる、来たくなるようなメッセージングが出来るかなと思いました。

歯科健診に関しては、妊婦の歯科健診を例に挙げると、理屈で説明することもできるが、「赤ちゃんと真っ白な歯で記念撮影」とか別のメッセージもできます。

後期高齢者の歯科健診についても、認知症や介護で「家族に迷惑をかけたくない」という思いに響くような言葉が入れられるのではいかと思いました。

・物江課長：大変参考になります。

今後検討していきたいと思っています。

・藤原部会長：私も妊婦健診の受診率が低いのが気になりました。妊婦さんは、毎月産婦人科に行くので「ナッジ」のようなそっと背中を押すような理屈じゃないやり方と、構造的な取り組みによる2つのアプローチがあれば良いのかなと思いましたので、検討していただければと思います。

また、後期高齢者の摂食と嚥下の重要性というのは、湊先生のおっしゃるとおりで、エビデンスとしてどこでも出ているので是非入れるべきだと思います。

今後、アクティブエイジングの足立の理想像があって、それに向かってどうしたらいいかという様な事を、説明する為の調査に活用されてはどうかと思いました。

・物江課長：区民部、福祉部、衛生部との連携の中でアピールや口腔機能の低下に繋がる介護予防につなげていきたいと思っています。

(8) 平成29年度こころといのちの相談支援事業の実績報告について

・こころとからだの健康づくり課・馬場課長より資料8に基づいて説明

・藤原部会長：40代女性の比率が上がっているのが気になります。

何か認識していることはありますか。

・馬場課長：生活の厳しさ、というものが女性にも影響を与えている、というのは強く感じています。

・長田委員：住区センターに来られるお年寄りには元気なんです。元気だから来れるという事なので、もう少し悩みを抱えている方々に来てもらいたいのですが、どういう風に広報して、来ていただけるかというのが悩みなんです。

来る方は、色々な講演会をやってもいつも同じ方という事で、今年はその辺を改善していかねければと思っています。

(9) インターネット・ゲートキーパー事業の開始について

- ・ ころとからだの健康づくり課・馬場課長より資料9に基づいて説明
- ・ 近藤副部長：受付と対応もすべてNPOが実施しているのでしょうか？
実際に支援につながった案件数も集計可能でしょうか？
- ・ 馬場課長：その通りです。問い合わせから24時間以内には返信してほしい旨をお願いしています。

まずはメールで繋がり、出来ることならWEB上から現実の相談に繋がりたいと思っています。

実際に、既に始めていて、衛生部だけでは対応できない具体的な事例が上がって来ましたので、ころといのちを通して、現実の支援を始めていくところです。

支援に繋がった案件数も今後集計し公表できると思います。

- ・ 藤原部長：費用はどのくらいですか？
- ・ 馬場課長：国や東京都の補助金がありまして、若年者の補助は全体の3分の2が出ますので、それを活用しています。

(10) 平成29年度糖尿病対策アクションプランの事業報告及び30年度の実施計画について

- ・ ころとからだの健康づくり課・馬場課長より資料10に基づいて説明
- ・ 馬場課長：ベジレシピをテレビの料理番組で連載として、取り上げてもらえそうです。
アイドルが作るということで、実現したら、若年男性や中学・高校生向けの啓発につなげていきたいと思っています。
- ・ 馬場課長：薬剤師会と糖尿病重症化予防フォロー事業の啓発ティッシュを作りました。今後も二者で連携を図っていきます。

・ 藤原部長：5年で健康寿命が1歳延びたというのは驚きな結果だと思います。

・ 乾委員：一生懸命、糖尿病対策に取り組んできた結果だと思います。

・ 近藤副部長：ベジタベライフ協力店の数が900店になると区内の飲食店の15%になります。15%を超えると自動的に増えていきます。
(diffusion of innovation)

15%が定かではないが、今後お店側から「やりたい」という声が出てくるかもしれないですね。

・ 長田委員：健康づくり推進員の中では「いただきます野菜から」が合言葉になっています。

コンビニでもベジタベマークを見かけるようになり、取り組みの広がりを感じています。

若い人にもっと発信していきたいです。

・ 茂出木委員：この取り組みをもっと広めていきたいです。

新田・宮城のほうではベジタベのぼりをあまり見かけません。

全区的に広めてもらえればと思います。

スポーツ面では、学校開放を利用する団体さんに「普段運動していない人をぜひ取り込んでほしい」と声かけをしたり、各種イベントで若年者に声かけもしていきたい。

ただ、働き盛りの方々は運動イベントなどに参加できないという現状もあるのが悩ましいところです。

・ 近藤副部長：東京都のスポーツ参加者増加の取り組み（オリンピック関連）と一緒に連携できるといいかもしれないですね。

・ 馬場課長：東京都からはウォーキングマップづくり協力の依頼が来ていて、スポーツ振興課にお願いしているところです。

ワールドカップやオリンピックなどに関連した雰囲気づくりは、区として提供できると思います（パブリックビューイングなど）。

・ 茂出木委員：高齢者の運動の場が少ない、という声に対して「パークde筋トレ」など、地域の公園に集まって一緒にウォーキングなど取り組んでいます。

女性の参加者が多いので、男性参加者を引っ張り出せる工夫をして

いきたいと思います。

- ① 平成 29 年度糖尿病眼科健診の実施結果について
・データヘルス推進課・物江課長より資料 11 に基づいて説明
 - ② 「歯科口腔保健対策」の実施結果と 30 年度の取り組みについて
・データヘルス推進課・物江課長より資料 12 に基づいて説明
 - ③ 平成 29 年度「永久歯フッ化物塗布事業（モデル事業）」の実施結果及び 30 年度の実施について
・データヘルス推進課・物江課長より資料 13 に基づいて説明
・湊委員：各保健センターの歯科衛生士の方々の活動の場が増えて、活躍しているのを強く感じています。子どもからの声にも反映されているように思います。引き続き頑張っていたきたい。
 - ④ 平成 29 年度あだちっ子歯科健診の実施結果について
・データヘルス推進課・物江課長より資料 14 に基づいて説明
(子ども政策課・松野課長の代理)
 - ⑤ 足立区糖尿病対策アクションプラン「おいしい給食・食育対策編」教育・保育施設での食育の取り組みについて
・子ども施設指導・支援担当課・半貫課長より資料 15 に基づいて説明
 - ⑥ 平成 29 年度小中学校での取組結果及び 30 年度の実施計画について
・こころとからだの健康づくり課・馬場課長より資料 16 に基づいて説明 (学務課・吉尾課長の代理)
- (11) 「第 3 回子どもの健康・生活実態調査 (平成 29 年度調査)」の実施結果について
・こころとからだの健康づくり課・馬場課長より資料 17 に基づいて説明

・藤原部会長：解析が終わって、国際的にも認められる結果が出てきました、野菜から食べることによって、肥満を予防するのは、その代表例 (先日もヨーロッパの国際会議で話をしたら、とても興味を持っていただいた) の 1 つですね。

今後も区民の皆様に還元出来るような結果を出していきたいと思います。

・大竹委員：毎年テーマを決めて学習会を開いていますが、ここ 2~3 年、テーマとして健康がよく挙がります。

これからも、糖尿病に対する理解を深めていきたいと思います。

3. その他

次回：10 月

4. 閉会

以上